

「庭先の花(2)」

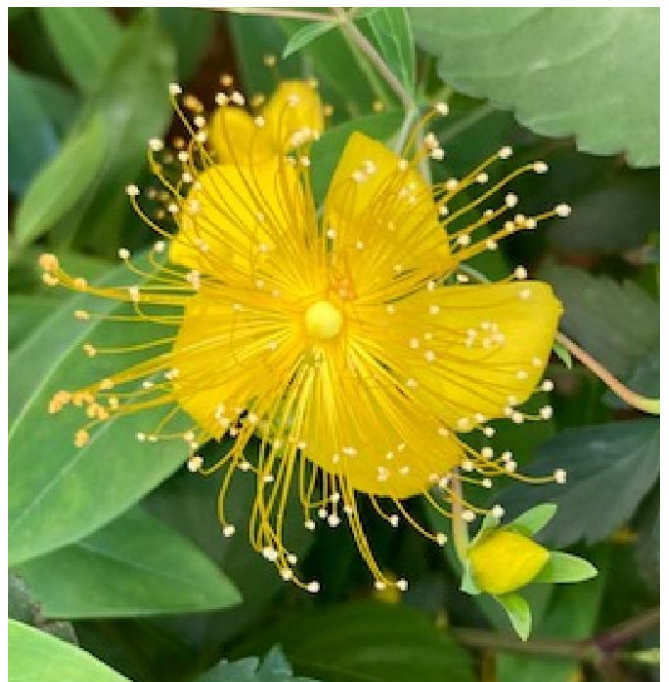
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



別の写真に黄色い花があった。葉の形は似ている。この花の果実が、前の写真かも知れない。



花卉の大きさや形状こそ違い、タイリンキンシバイと形態はよく似ている。オトギリソウ科の花に間違いないだろう。つぼみを見ると、がく片の付き方が実の写真と同じだ。この果実と花の写真は同一種と見て間違いなさそう。しかし、こんな黄色い花から、薄桃色の果実ができるのだろうか？私は何冊かの図鑑と、インターネットも使って調べてみた。

種名(和名)にはたどりつけなかったが、これは「ヒペリカム」と呼ばれる園芸品種とわかった。「ヒペリカム」とは学名のラテン語 *Hypericum sp.* のことで、「オトギリソウ科・オトギリソウ属」の総称を意味する。従って「ヒペリカムの仲間」と言ったほうが正確だ。子どもの気持ちと同じで、相手の名前がわかるとなぜかほっとして、愛着も湧くような気がする。



この写真もとても美しい。どこかで見たことがあるような果実だ。花が写っていれば同定は楽なのだが、果実だけが写っていた。



それでもヒントはある。果実の下のがく片の数から見て、恐らく花は離弁花で花弁は5枚だろう。葉は全縁(ギザギザがない)なのも特徴だ。これもタイリンキンシバイと同じ、オトギリソウ科と思える。